



# ☆面接練習を始める！躰(しつけ)について考える☆

12月に入り、面接練習も始まりました。配ったプリントにも「面接は日頃の態度がそのまま現れる」と書いてあります。あいさつ・返事・礼の仕方・言葉づかい・敬語など、よく見てみると、全然できていない！学校でも基本的なマナーは伝わりますが、家でも最低限の躰・仕付け・しつけをお願いします。



「しつけ」という言葉を辞書で引くと三つの意味が出て来ます。「①礼儀作法をその人の身につくように教え込むこと。また、その礼儀作法。②裁縫で、縫い目や折り目を正しく整えるために、あらかじめ粗く縫うこと。③田畑に作物を植え付けること。」この三つです。私は個人的に、②と③に”しつけ”の奥深さを感じます。



着物を縫うときに、かたちを整えるため、前もって縫っておく糸のことを”仕付け糸”と言います。縫い終わって、着物が仕上がると不要になるので、取ってしまう糸。または、田畑に豊かな作物が育つように種をまくこと。この部分に子どもたちを”しつける”ヒントがあります。最初は、人としてのかたちを整えるために周りから仕付けられて、人間としてのかたちを崩さずに生きていけるようになったら、手を離す…。子どもがやがて大人になって世の中に出ていったとき、人間としてのかたちが崩れないようにし、きちんとした花を咲かせて実がなるように、しっかりと種まきをする…。”しつけ”とはそんな日本人の心を表し

た言葉なのだと思います。そして、しっかりとしつけられた人は、きっと美しい生き方をする、だから”しつけ”を”躰”と書くのかもしれない。

礼儀作法とは、自然に身につくものばかりではない。だから、”しつける”ことが大事になってきます。家庭での躰も当然大事です。そして、学校における人間としてのしつけも同様に大事です。

しつける側も、しつけられる側も時には苦しいこともあります。お互いによりよい生き方をする努力を惜しまずに精進していきましょう。高校や社会に出たときに、しっかりとしつけられた子どもが活躍する姿を楽しみに…。



## 【12月の進路計画をお知らせいたします！】

- 8日(土) → 受験料徴収封筒を配布します
- 10日(月) → 校内推薦委員会
- 11日(火)・12日(水) 6校時 → 私立高校願書記入(下書き・清書・持ち帰って保護者記入し、押印)
- 13日(木) → 面接マナー教室(鹿児島高校の先生と先輩が来られて、面接の練習をします)
- 17日(月)・18日(火) → 私立高校受験料(1校10,000円です。樟南11,000円)
- 18日(火) → 私立願書回収最終切日
- 21日(金) → 二学期終業式・冬休みスタート